MD1230 Family バージョンアップ手順書

（Ver. 1.0 ～ 4.2 用）

アンリツ株式会社

目次：

1. バージョンアップの前に.....3
1.1 作業概要.....3
1.2 必要なもの.....4
1.3 必要な手順.....4
2. CD-ROM からインストーラをコピーする。.....5
2.1 USB メモリを使用してコピーする。.....5
2.2 LAN を使用してコピーする。.....6
3. MD1230A/MD1230B/MD1231A バージョンアップ手順.....11
3.1 アンインストール.....11
3.2 インストール.....14
3.3 内部ソフトウェア・FPGA データのダウンロード.....16
3.3.1 Ver.4.0 以降から Ver.3.3 以前のバージョンへバージョンダウンする場合.....19
3.4 Main Application の設定.....20
3.5 日本語ヘルプを表示するには.....22
4. MX123001A バージョンアップ手順.....23
4.1 アンインストール.....24
4.2 インストール.....25
4.3 Main Application の設定.....27
5. MT7407A バージョンアップ手順.....29
6. Q&A.....30
Q. ダウンロードが出来ない。Main Application にユニットを登録できない。.....30
Q. 以前にインストールされていたバージョンでセーブした設定・結果データを読み込みたい。.....30
Q. Unit 登録で Unit アイコンが”×”になる。.....30
Q. セットアップユーティリティにてソフトウェアのダウンロード時、"Execute"ボタンクリック後にエラーメッセージ "Serial communication error"が発生する。.....30

1. バージョンアップの前に

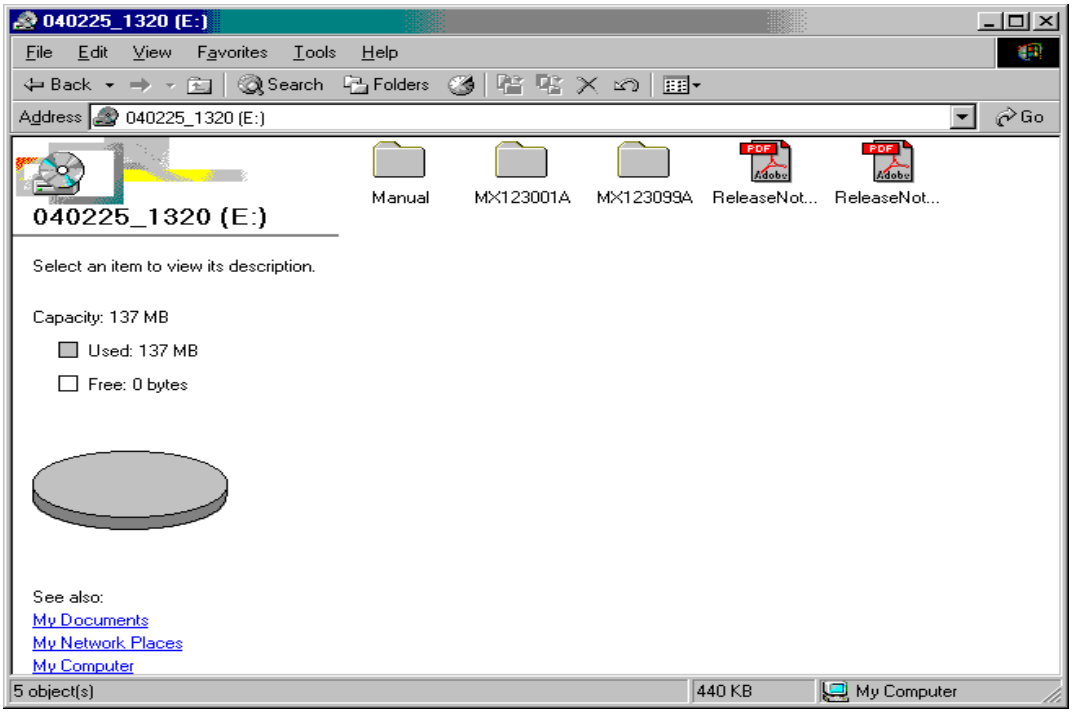
1.1 作業概要

(1) この手順書は、MD1230 Family のソフトウェアをバージョンアップする為のものです。

(2) この手順書は、MD1230A/MD1230B(MX123099A)、MD1231A(MX123199A)、MX123001A、MT7407A 共通です。

(3) マニュアル中の説明上、表示画面は、MD1230A を用いています。

(4) 本バージョンアップは、CD-ROM 内のインストーラを使用することにより実施されます。CD-ROM 内には、各製品毎のフォルダがあります。これらのフォルダには、インストーラが含まれています。



1.2 必要なもの

1.2.1 全製品共通に必要なもの

(1) セットアップ CD-ROM（1 枚）

(2) 本体シリアル No.より作成された Product Key

※CD-ROM 内の Product Key Sheet にインストールに必要な Product Key とシートの右下にインストールされる本体のシリアル No.が記載されています。

(3) マウス

(4) キーボード

(5) CD-ROM ドライブが使用できるパーソナルコンピュータ

1.2.2 MD1230A/MD1230B/MD1231A のバージョンアップに必要なもの

(1) イーサネットクロスケーブル(LAN を使用する場合)若しくは USB メモリ(外部メモリを使用する場合)

1.2.3 MT7407A のバージョンアップに必要なもの

(1) イーサネットクロスケーブル及び RS-232C クロスケーブル

(2) RS-232C インターフェースを有するパーソナルコンピュータ

1.3 必要な手順

1.3.1 MD1230A/MD1230B/MD1231A のバージョンアップに必要な手順

2. CD-ROM からインストーラをコピーする → 3. MD1230A/MD1230B/MD1231A バージョンアップ手順

1.3.2 MX123001A のバージョンアップに必要な手順

4. MX123001A バージョンアップ手順

1.3.1 MT7407A のバージョンアップに必要な手順

4. MX123001A バージョンアップ手順 → 5. MT7407A バージョンアップ手順

2. CD-ROM からインストーラをコピーする。

2.1 USB メモリを使用してコピーする。

この場合、USB メモリのドライバを別途用意して下さい。

(1) USB メモリを PC の USB ポートに接続して下さい。

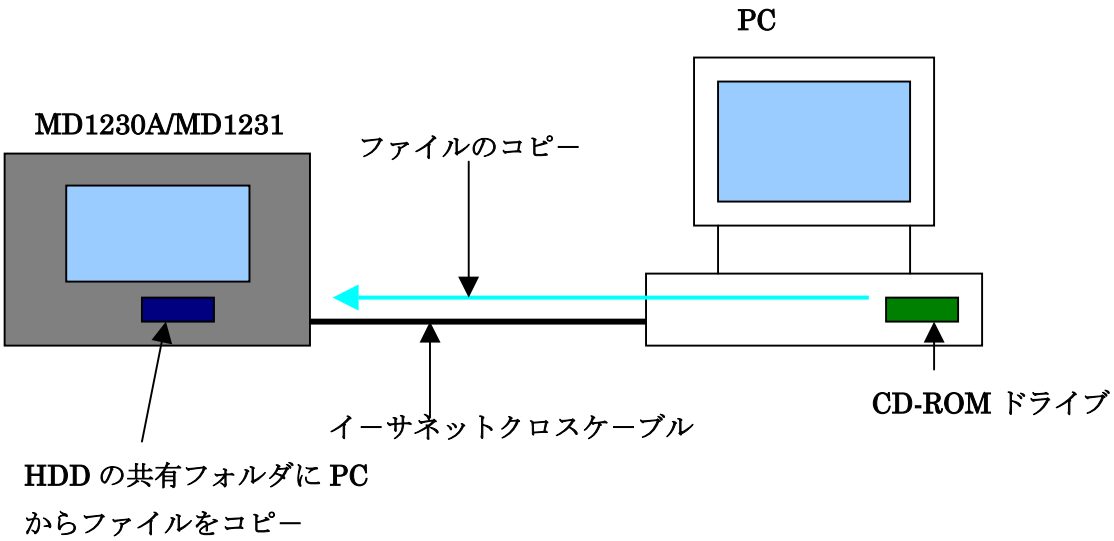
(2) CD-ROM 内の MX123099A/MX123199A フォルダを USB メモリにコピーして下さい。

(3) USB メモリを PC から外し、MD1230A/MD1230B/MD1231A の USB ポートに接続して下さい。

(4) USB メモリ内の MX123099A/MX123199A フォルダを MD1230A/MD1230B/MD1231A の HDD 上の適当な場所にコピーして下さい。

2.2 LAN を使用してコピーする。

2.2.1 コピーのイメージ



[ファイルコピーのイメージ図]

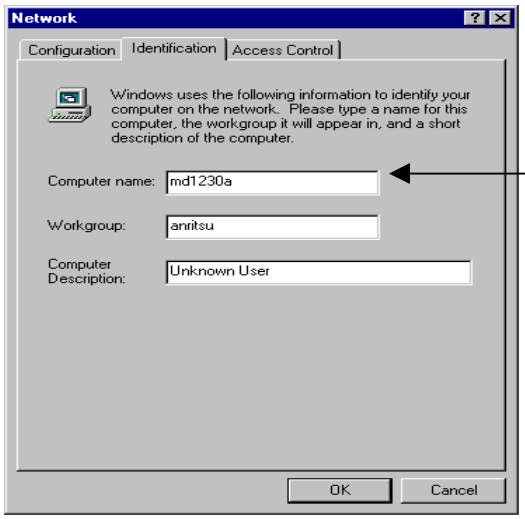
2.2.1 操作手順

[MD1230A/MD1230B/MD1231A での操作]

(1) MD1230A/MD1230B/MD1231A の HDD 内に適当なフォルダを作成し、そのフォルダを共有フォルダにして下さい。

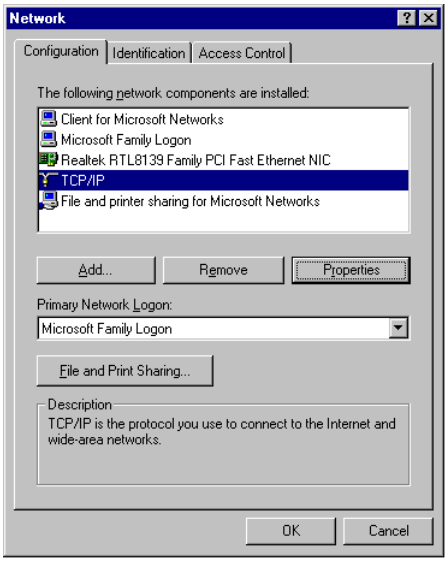
(2) Windows スクリーン上で”Network Neighborhood”アイコンを右クリックし、プロパティを開いて下さい。

(3) "Identification”タグをクリックし、”Workgroup”を PC に設定されているものと同じにして下さい。



ここを PC の設定と同じにする

(4) "Configuration"タグをクリックしネットワーク構成の中から TCP/IP を選択し"プロパティ"ボタンをクリックします。



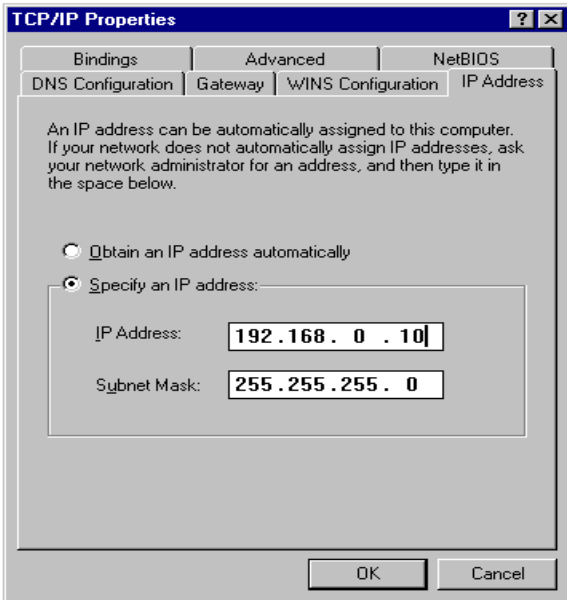
(5) "IP アドレス"タグをクリックし、IP アドレス、サブネットマスクを設定します。この時、ネットワークアドレスを PC と同じにします。

注意！：PC 側の IP アドレスが指定されていることを確認して下さい。

[例] PC の IP アドレスが 192.168.0.1 ならば MD1230A/MD1230B/MD1231A の設定は下記の通りとする。

IP アドレス　192.168.0.10

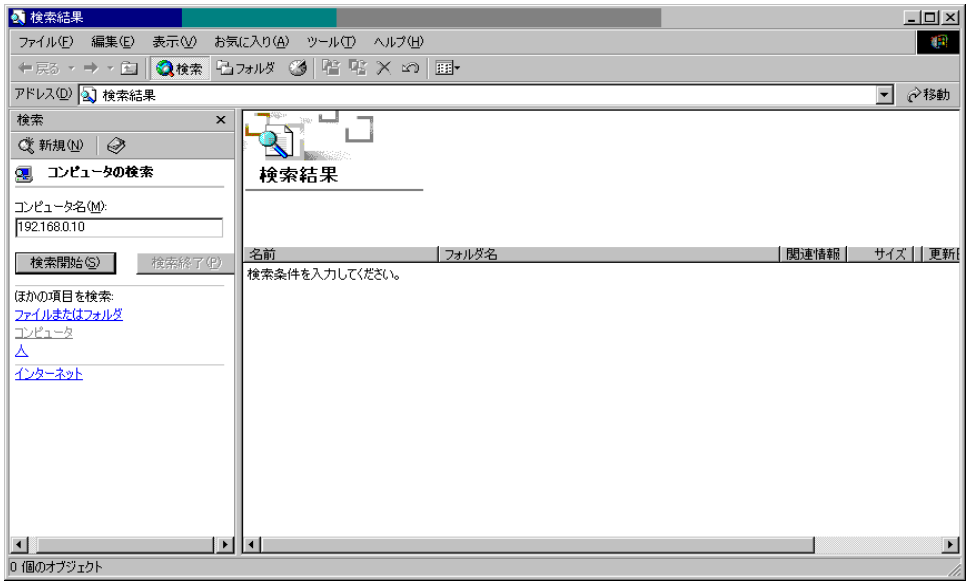
ネットマスク　255.255.255.0　　の部分を PC と同じにする



(6) PC と MD1230A/MD1230B/MD1231A をイーサーネットクロスケーブルで接続して下さい。

[PC での操作]

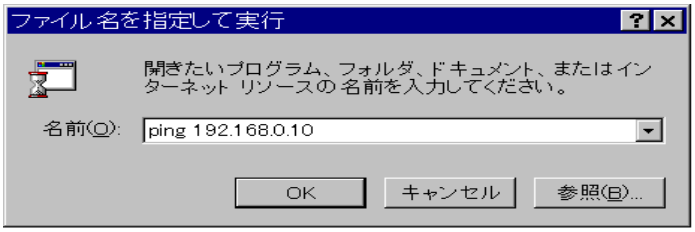
(7) PC から MD1230A/MD1230B/MD1231A を検索します。検索画面にて MD1230A/MD1230B/MD1231A の IP アドレスを入力し、検索して下さい。
(本画面は Windows 2000 の PC を使用した場合です。)



検索できない場合は、PC から MD1230A/MD1230B/MD1231A の IP アドレスに対して ping コマンドを実行して、通信できているかの確認をして下さい。

{例]

"スタート"ボタンをクリックし"ファイル名を指定して実行"を選択し、ping 192.168.0.10 を入力し、実行する場合。



(7) MD1230A/MD1230B/MD1231A を検索後、イーサネットポート経由で、CD-ROM 内の "MX123099A"フォルダを MD1230A/MD1230B/MD1231A の共有フォルダにフォルダごとコピーして下さい。
"MX123099A"フォルダ内の構成は、下記の通りです。
disk1 フォルダ ：
AdbPort.dll　data1.cab　data1.hdr　data2.cab　GetSerial.exe　ikernel.ex_
layout.bin　Msvbvm60.dll　Setup.exe　Setup.ini　setup.inx

この後、本手順書の 3 項から記述されている通りに Setup.exe を起動しインストールを実行して下さい。

3. MD1230A/MD1230B/MD1231A バージョンアップ手順

注意!:

デコードモジュールオプション（MD1230A/30B/31A-04 MD1230A/30B/31A-04）、
エキスパート解析モジュールオプション（MX123002A）
がインストールされている場合は以下を必ずお読みください。

1. MX123099A/MX123199A をアンインストールすると MD1230A/30B/31A-04、MX123002A もアンインストールされます。保存した結果ファイルは他のディレクトリに退避しておいてください。これらのソフトウェアは、MX123099A/MX123199A をバージョンアップ後、再度インストールしてください。
2. Ver.4.2 以降のソフトウェアをインストールする場合は、1.のようにデコードモジュールオプションの再インストールを行った後で次の作業を行う必要があります。

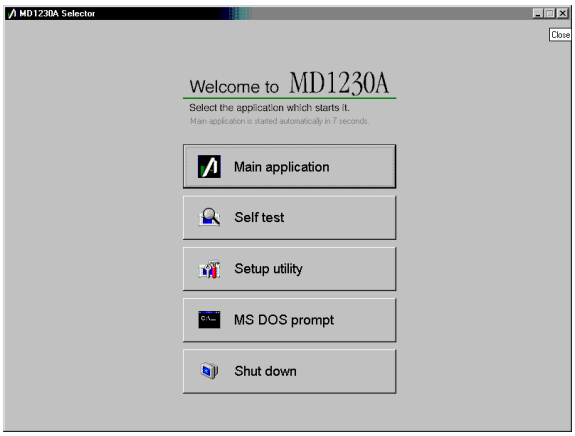
   MD1230A/MD1230B/MD1231A のハードディスクの C:¥md1230a¥Main に、CD-ROM 内の etc¥DecodeModule フォルダ中にある SniffIt2.dll を「上書き」します。

   この手順を行わないと、キャプチャ結果を表示する際にエラーメッセージが表示され、キャプチャ機能を使用することができません。

本手順は、2 項の手順により、CD-ROM 内の MX123099A/MX123199A フォルダが MD1230A/MD1230B/MD1231A の HDD 内にコピーされていることを前提として記述されています。

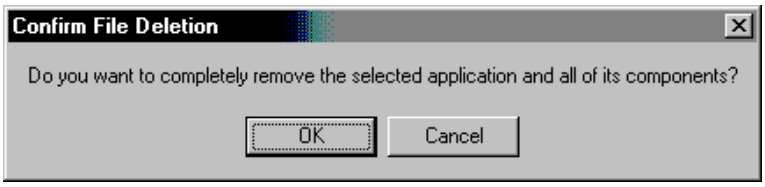
3.1 アンインストール

(1) MD1230A のアプリケーションを終了します。セレクタ画面の右上にある，×ボタンを押して，Windows の画面を表示させます。



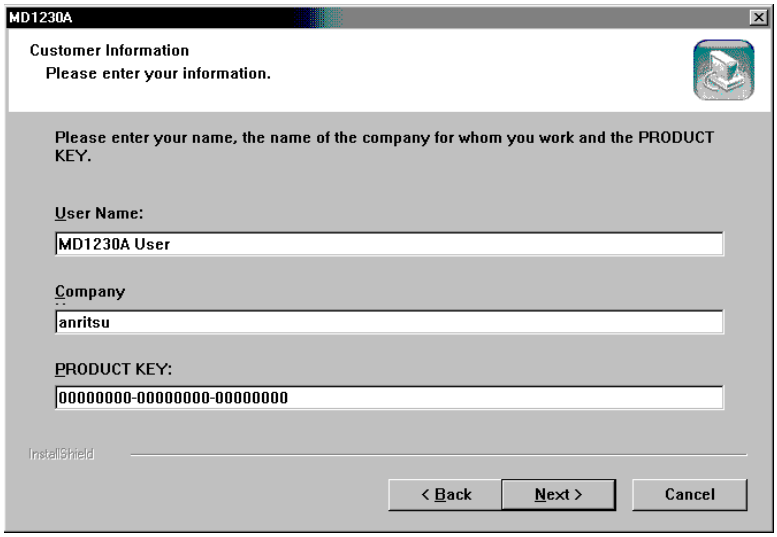
(2)CD-ROM からコピーした"MX123099A/***"フォルダ（***は本体の名称です。本体が MD1230A のときは"MD1230A"です。）内の Setup.exe を実行します。アンインストーラが起動します。

(3)アンインストールを実行してよいかの問い合わせに対し，OK ボタンを押します。



(4)Company Name , PRODUCT KEY を入力し Next ボタンを押します。PRODUCT KEY は CD のケース内に記載されています。

注意：”-“(ハイフン)も必ず入力してください。 大文字、小文字の区別はありません。

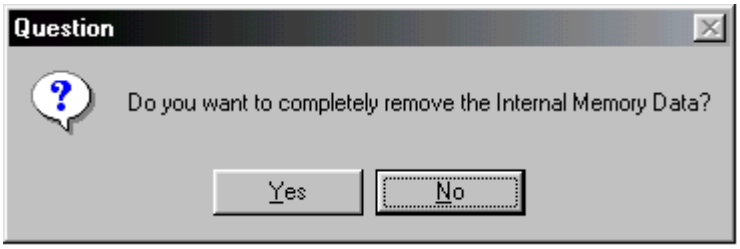


(上記画面はイメージです。実際は多少異なります。)

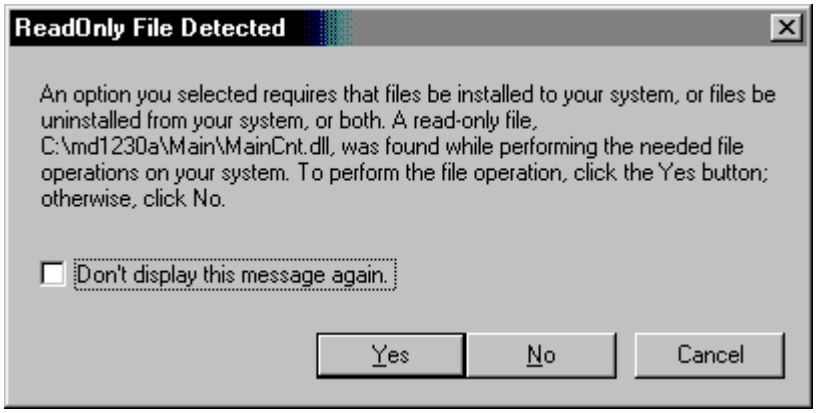
(5) インターナルメモリ上に保存された，MD1230A の設定データや測定結果データを削除してよいかの問い合わせに答えます。

Yes の場合：設定データや測定結果データが削除されます。

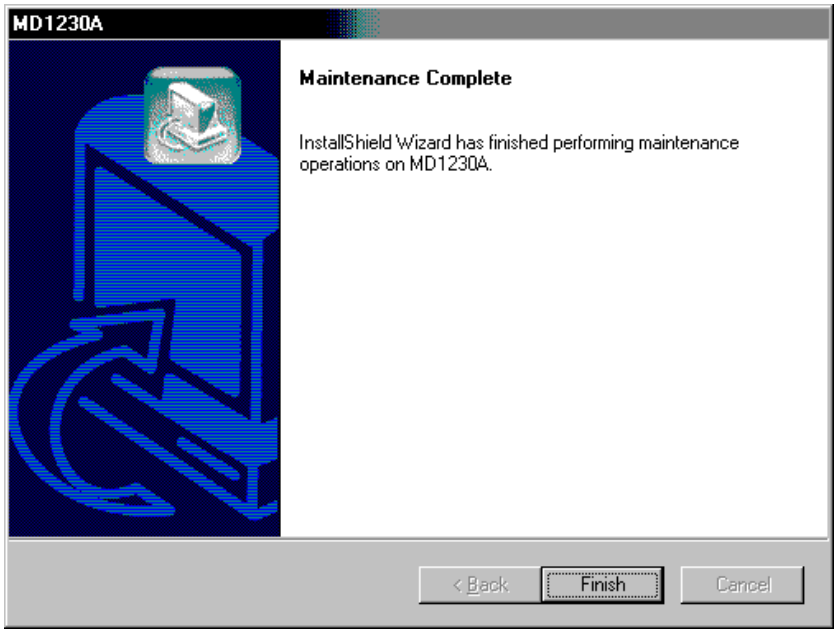
No の場合： 設定データや測定結果データが残ります。



(6) Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，Yes ボタンを押します。



(7) 以下のような画面に対して Finish ボタンを押して，アンインストールを完了します。



3.2 インストール

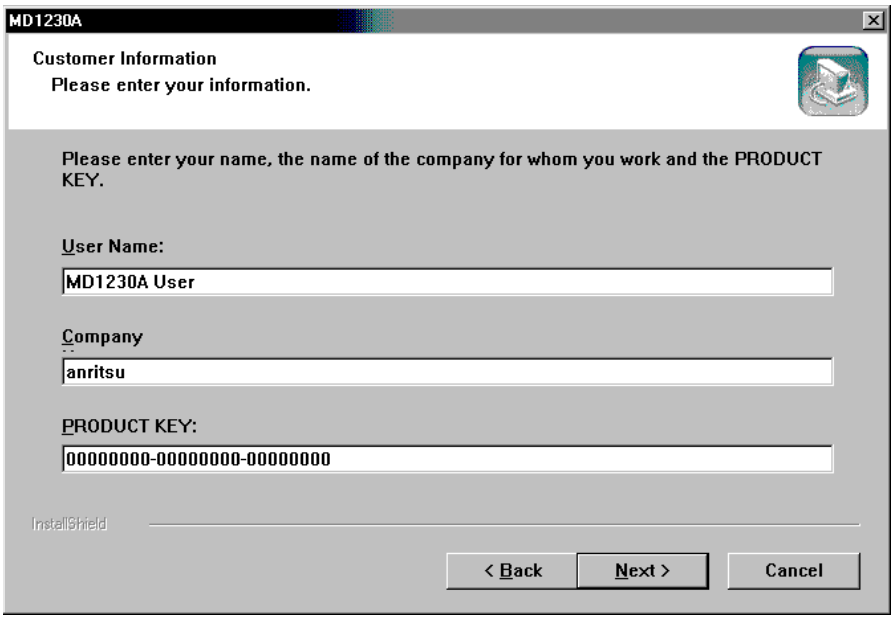
(1) アンインストールが完了してから 10 秒程待ったあと，再度 Setup.exe を起動します。インストーラが起動します。Next ボタンを押して，インストールを開始します。

(2) インストールを実行してよいかの問い合わせに対し，OK ボタンを押します。



(3) Company Name , PRODUCT KEY を入力し Next ボタンを押します。PRODUCT KEY は CD のケース内に記載されています。

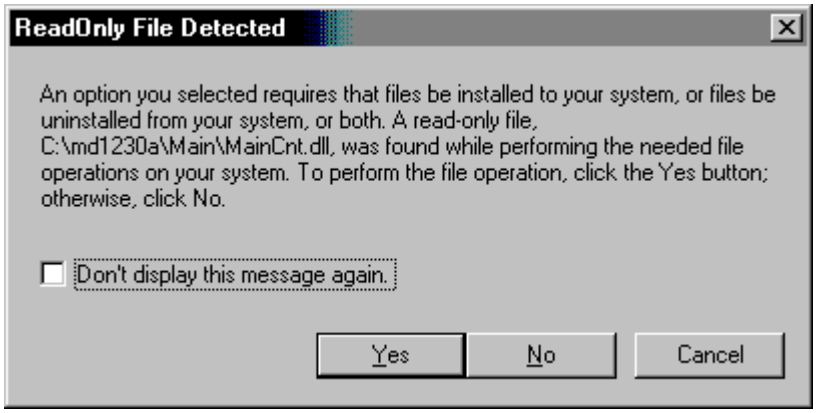
注意：”-“(ハイフン)も必ず入力してください。



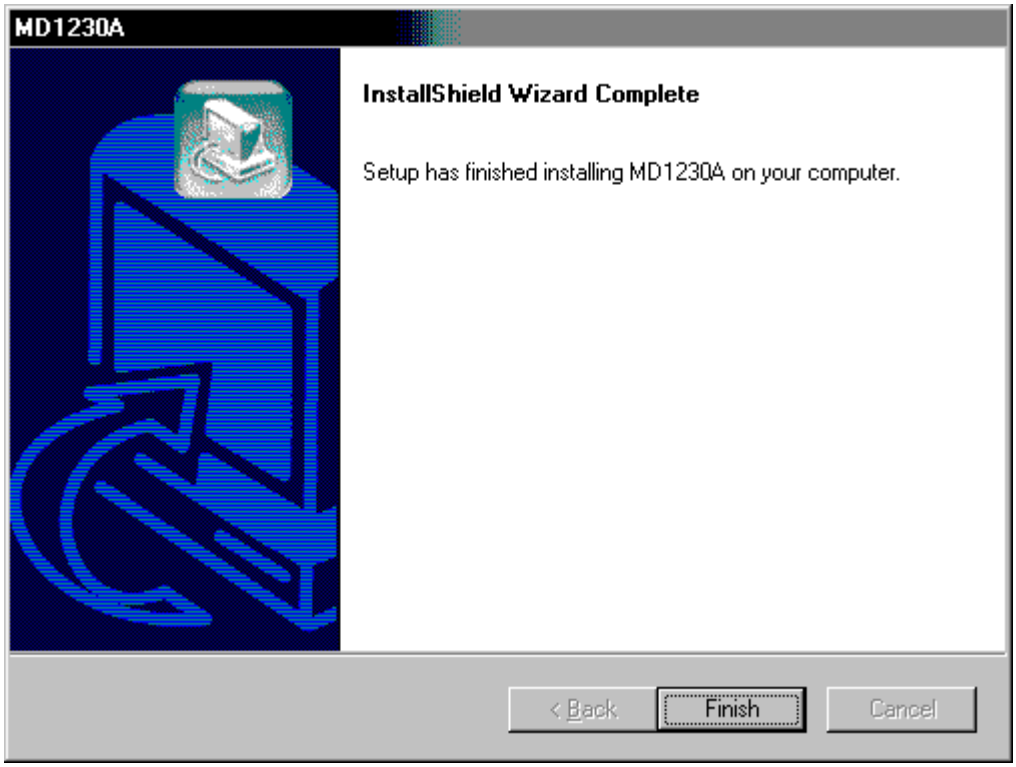
(上記画面はイメージです。実際は多少異なります。)

この後、自動的に全てのファイルがインストールされます。

(4) Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，Yes ボタンを押します。



(5) 以下のような画面に対して Finish ボタンを押して，インストールを完了します。

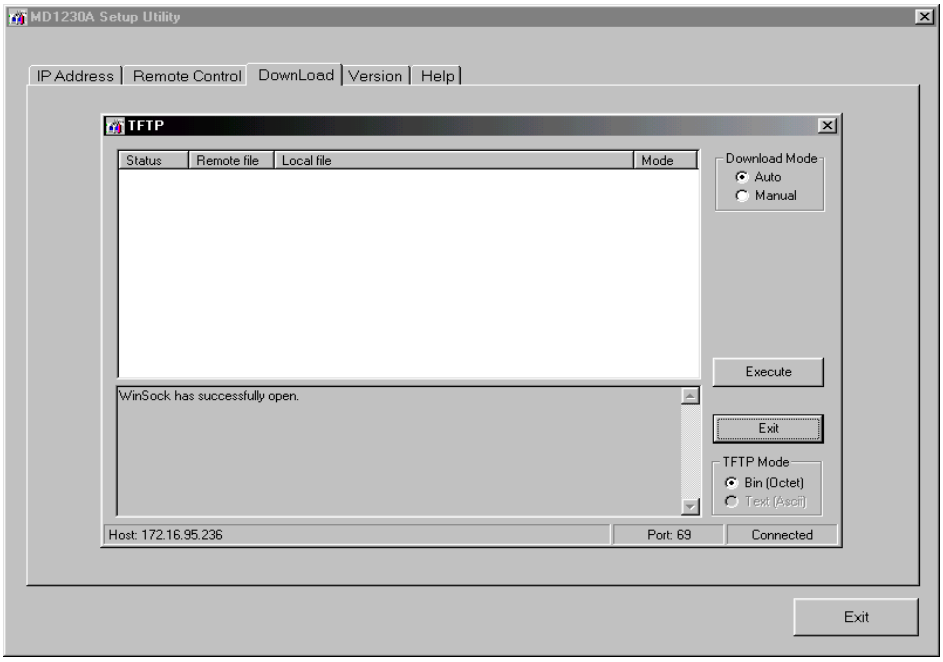


3.3 内部ソフトウェア・FPGA データのダウンロード

(1) セットアップユーティリティを起動し，Download タブの「Download...」ボタンをクリックします。

注意!： Ver.1.x から 3.2 へバージョンアップする場合は、セットアップユーティリティは下記の実行ファイルにより起動させて下さい。アイコンから起動させるとエラーが発生します。

C:¥md1230a¥Main¥SetupUtility.exe



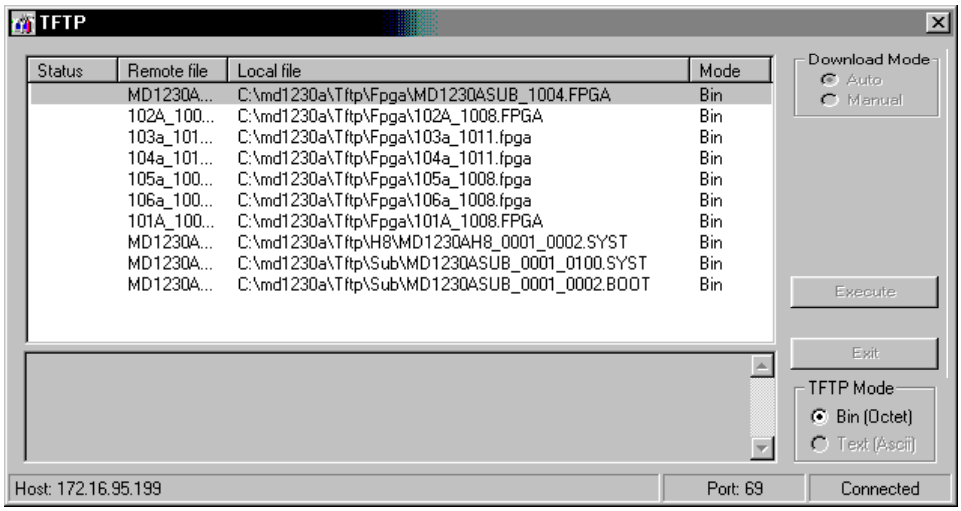
注意!： Ver.4.0 以降のバージョンから Ver.3.3 以前のバージョンへバージョンダウンする場合は以降の手順の前に 3.3.1 の手順を行ってください。

(2) Download Mode を Auto に選択し、Execute ボタンを押します。

(3) 自動ダウンロードを実行してよいかの問合せに対し、OK ボタンを押します。

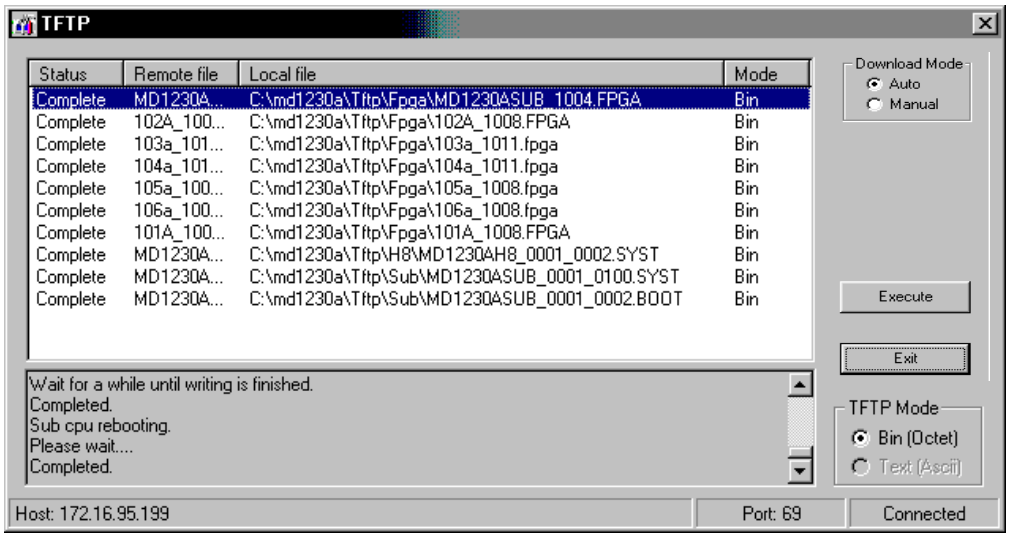


下記のようにファイルが自動的に選択され、ダウンロードが行なわれます。ダウンロードにかかる時間は，1 つのファイルにつき 2 分～8 分程度，最長 30 分程度です。



ファイル選択後の画面(上記画面はイメージです。実際は多少異なります。)

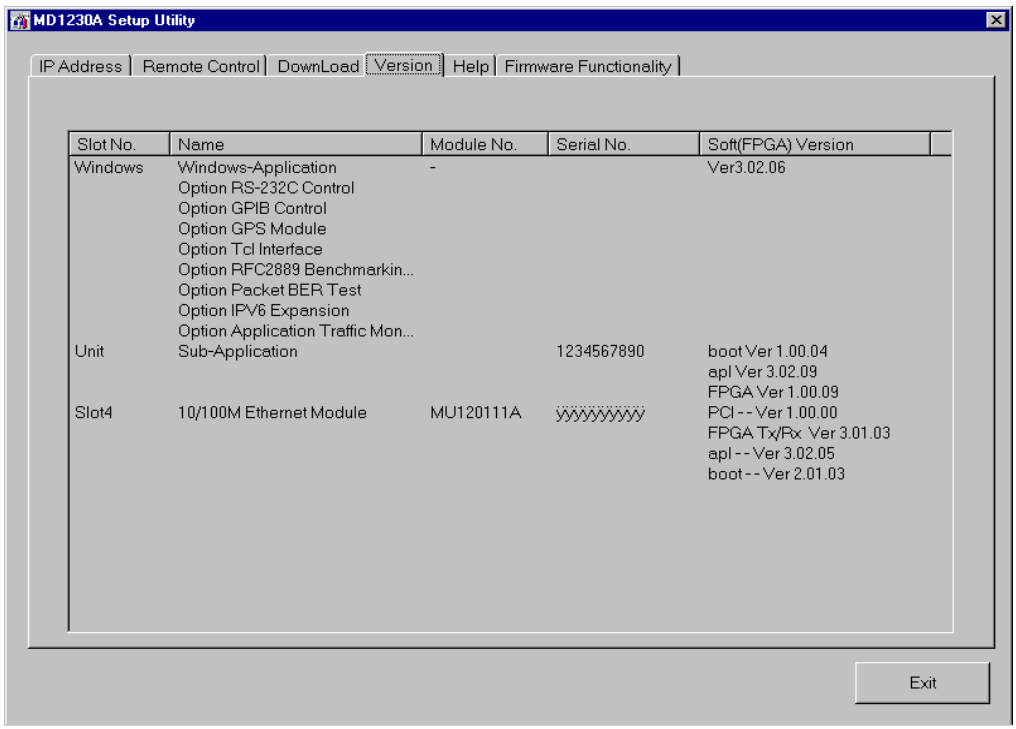
(4) ダウンロードが終了すると，以下の図のように Exit ボタンが有効になります。



(上記画面はイメージです。実際は多少異なります。)

(5) Status が，すべて「Complete」であることを確認し，Exit ボタンを押して，TFTP(ダウンロード画面）を終了します。

(6) Version タグをクリックして、リリースノートの Version と合っているかを確認して下さい。

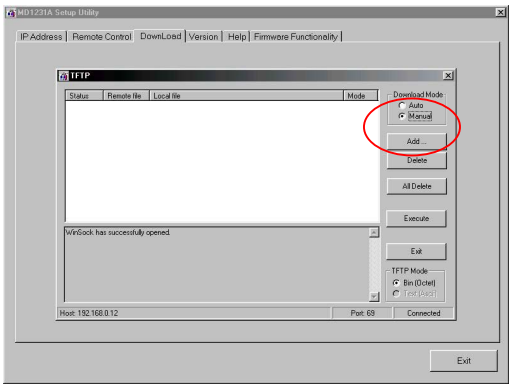


(7) Exit ボタンを押して，Setup Utility を終了します。

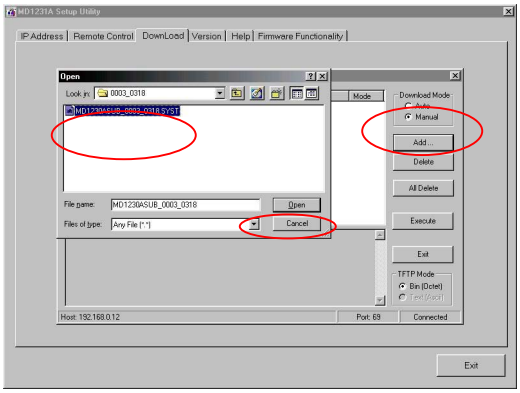
この後、必要に応じてセルフテストを実行して下さい。

3.3.1 Ver.4.0 以降から Ver.3.3 以前のバージョンへバージョンダウンする場合

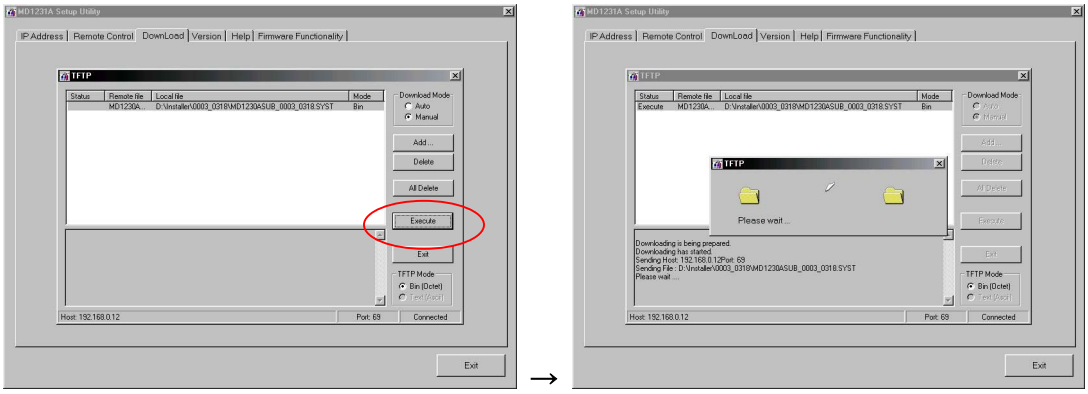
(1) Download タブのダイアログで、右上の Download Mode 設定を Auto から Manual に変更します。



(2) Add ボタンを押すと，ファイルを選択するダイアログが表示されます。ここで，Sub フォルダにある MD1230ASUB_XXXX_XXXX.SYST（X は任意の数字）というファイルを選択し，Open を押します。

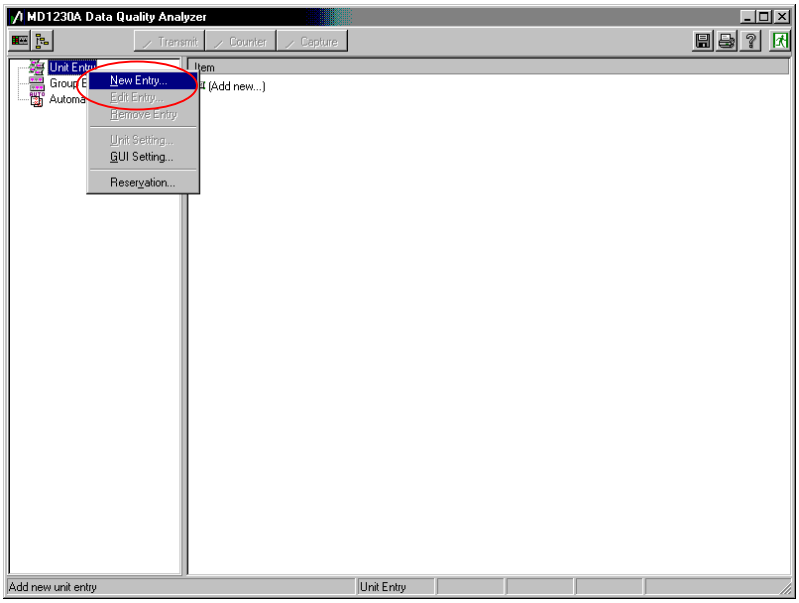


(3) Execute ボタンを押すと、ダウンロード処理を実行します。完了までに数分かかります。ダウンロード処理が終了すると Exit ボタンが有効になります。

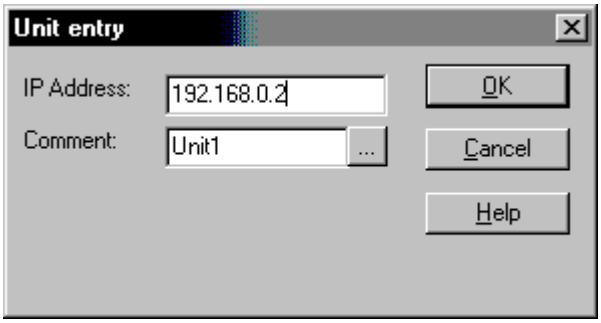


3.4 Main Application の設定

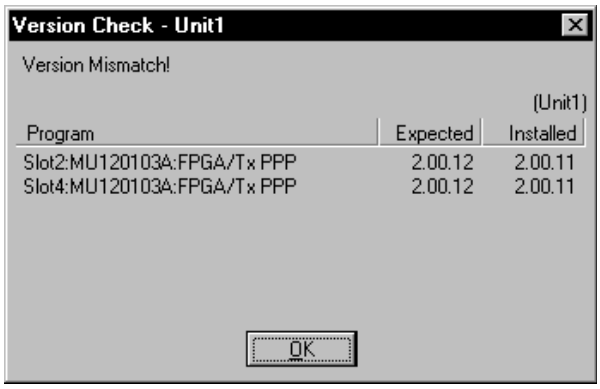
(1) （Ver.4.0 以降のソフトウェアでは行う必要はありません。）
Main Application を起動し，[Unit Entry] - [New Entry...]を選択します。



Unit の IP アドレスを入力し，OK ボタンを押します。Unit の IP アドレスは、Setup Utility の IP Address タブで確認することができます。

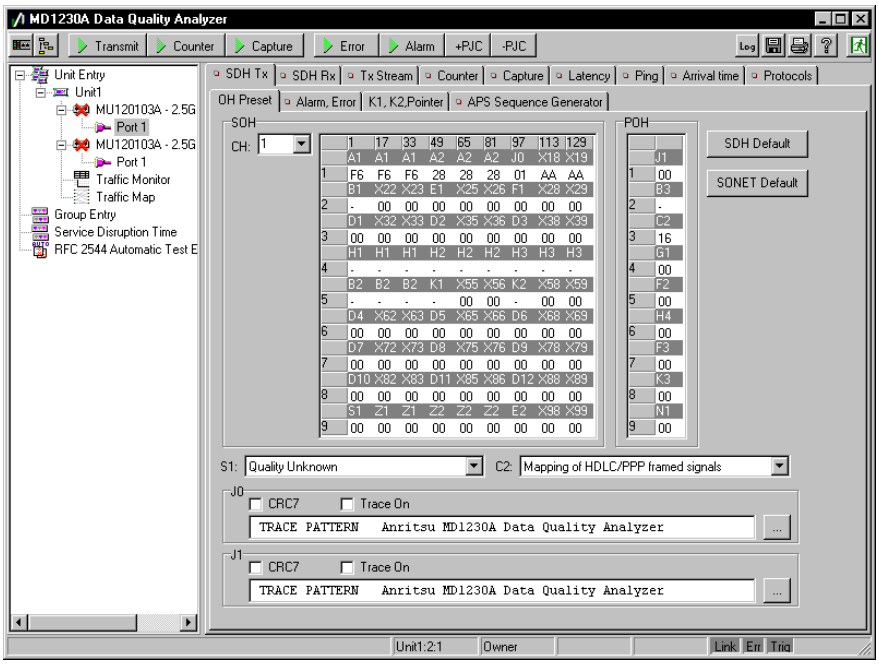


(2) Unit への接続時に自動で VersionCheck が行われます。ダウンロードされているファイルとインストールされているファイルに違いがないかを確認します。違いがある場合下記のような画面が表示されます。



Program　　：バージョン情報が一致していないプログラムの名称。
Installed　　：インストールされているプログラムのバージョン。
Expected　　：動作保証できるプログラムのバージョン。

また、以下の画面のように、Version が合っていない Unit/Module アイコンに”×”が付きます。
この場合、もう一度自動ダウンロードをやり直す必要があります。



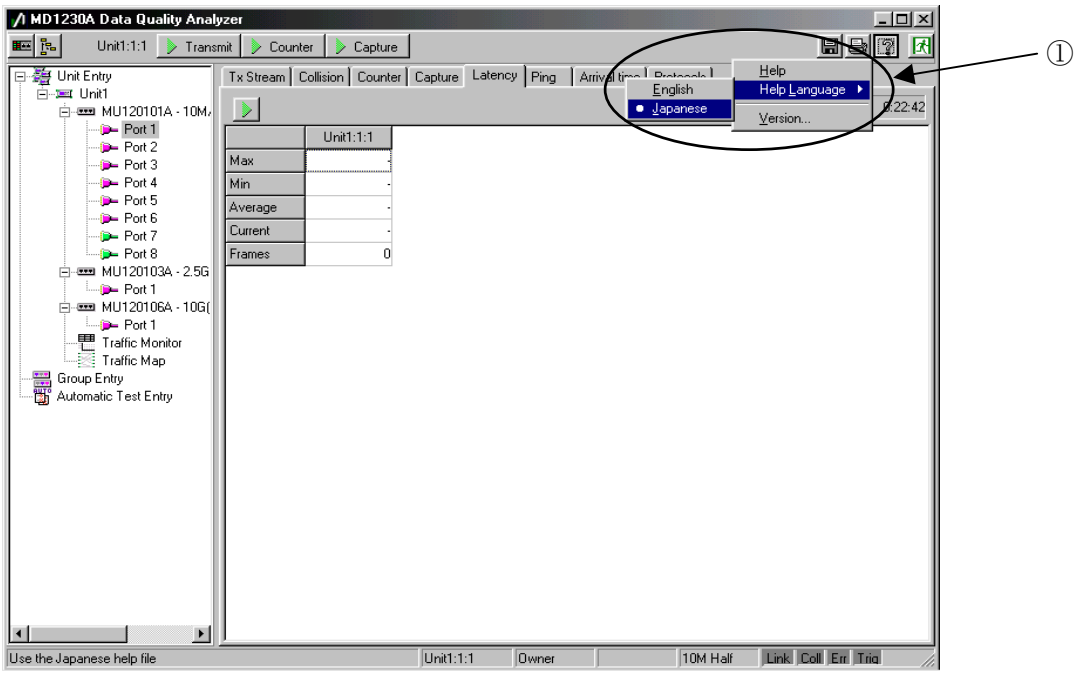
3.5 日本語ヘルプを表示するには

注意！：Ver. 1. 3 バージョンアップ時ですでに日本語ヘルプを表示させている場合、本作業を行う必要はありません。Ver. 1. 0～1. 2 をバージョンアップする場合のみ必要な作業です。

(1) C:¥md1230a¥JFont 内にある 2 つのファイル、「Ja.inf」と「w95upd.inf」をエクスプローラ上から右クリックして”Install”を実行します。

(2) C:¥md1230a¥JFont 内にある「Msgothic.ttf」を C:¥WINDOWS¥FONTS にコピーします。

(3) Main アプリケーションを起動後、Help Language で言語を”Japanese”に設定したあとに Help を起動し（①）、日本語ヘルプが文字化けすることなく表示されることを確認します。



4. MX123001A バージョンアップ手順

注意!： Windows95 では、MX123001A は実行できません。

注意!：

MX123001A-01（MD1230A-04 用リモートコントロールソフトウェア)、
MX123003A（MX123002A 用リモートコントロールソフトウェア）
がインストールされている場合は以下を必ずお読みください。

1. MX123001A のアンインストールを実行すると、MX123001A-01、MX123003A もアンインストールされます。保存した結果ファイルは他のディレクトリに退避してください。これらのソフトウェアは、MX123001A をバージョンアップ後、再度インストールしてください。
2. MX123001A-01 を再インストールする際に（CD ではなく）フロッピーディスクのオプションインストーラをお持ちの方は、以下の手順を必ず実行してください。この手順を行わないと、再度インストールができなくなります。
   (1) インストール作業の前に MX123001A のインストール先(*)にある Main フォルダから以下の 3 ファイルをコピーしてください。
   pimain.dll、psuite.cfg、pi_apple.pds
   (2) (1)でコピーしたファイルを MX123001A フォルダ(*)内に貼り付けてください。
   (3) オプションインストーラ FD でインストールを実行してください。
   (4) インストール後、Sniffer フォルダをコピーしてください。Sniffer フォルダはデフォルトでは C:¥Program Files¥Anritsu にあります。
   (5) (4)でコピーしたフォルダを MX123001A フォルダ(*)内に貼り付けてください。
   (6) 以上でインストール作業は終了です。
3. Ver.4.2 以降のソフトウェアをインストールする場合は、1.のように MX123001A-01 の再インストールを行った後で次の作業を行う必要があります。

バージョンアップ CD-ROM 内の etc¥DecodeModule フォルダ中にある SniffIt2.dll を、MX123001A のインストール先(*)の Main フォルダに「上書き」します。

   この手順を行わないと、キャプチャ結果を表示する際にエラーメッセージが表示され、キャプチャ機能を使用することができません。

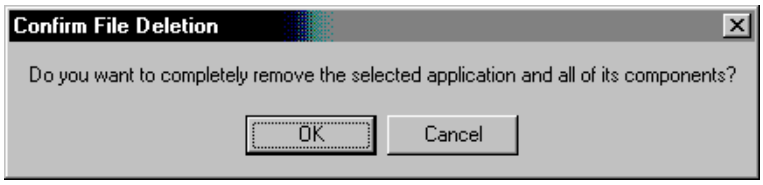
*： デフォルトでは C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A となります。

4.1 アンインストール

(1) MX123001A がすでに起動している場合は終了します。画面の右上にある，Exit application ボタンを押してください。

(2) CD-ROM を PC のドライブに挿入し，MX123001A フォルダの中の MX123001A-X.XX.XX.exe を実行します。アンインストーラが起動します。

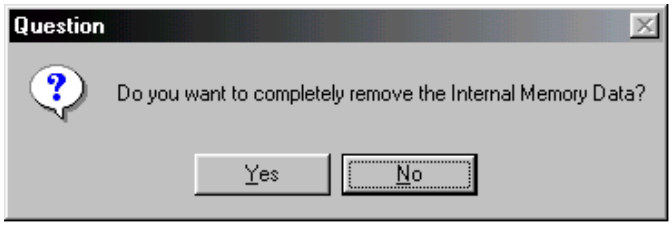
(3) アンインストールを実行してよいかの問い合わせに対し，OK ボタンを押します。



(4) インターナルメモリ上に保存された，MD1230A の設定データや測定結果データを削除してよいかの問い合わせに答えます。

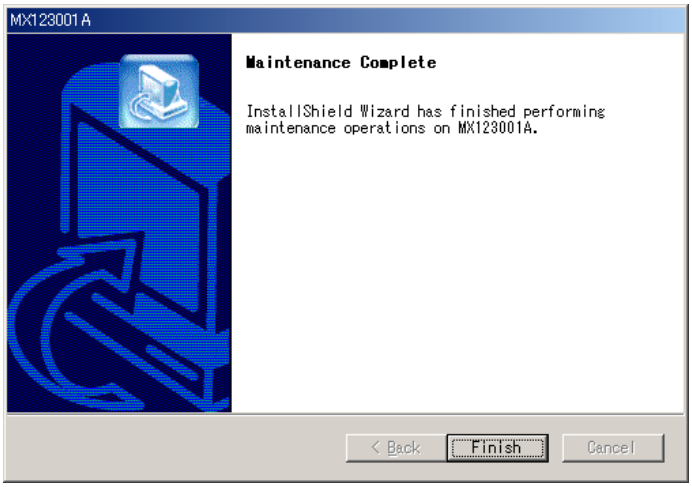
Yes の場合：設定データや測定結果データが削除されます。

No の場合： 設定データや測定結果データが残ります。



(5) Read Only ファイルの削除についての問い合わせダイアログが表示された場合は，Yes ボタンを押します。

(6) 以下のような画面に対して Finish ボタンを押して，アンインストールを完了します。



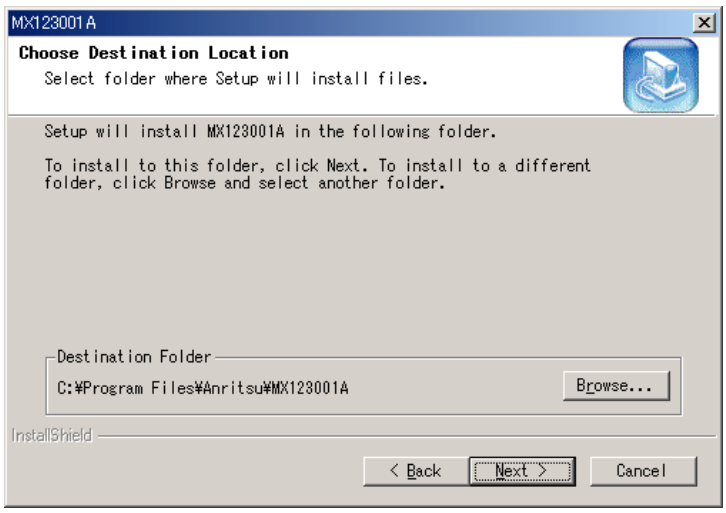
4.2 インストール

(1) アンインストールが完了してから 10 秒程待ったあと，もう一度，セットアップディスクの MX123001A-X.XX.XX.exe を起動します。インストーラが起動します。Next ボタンを押します。

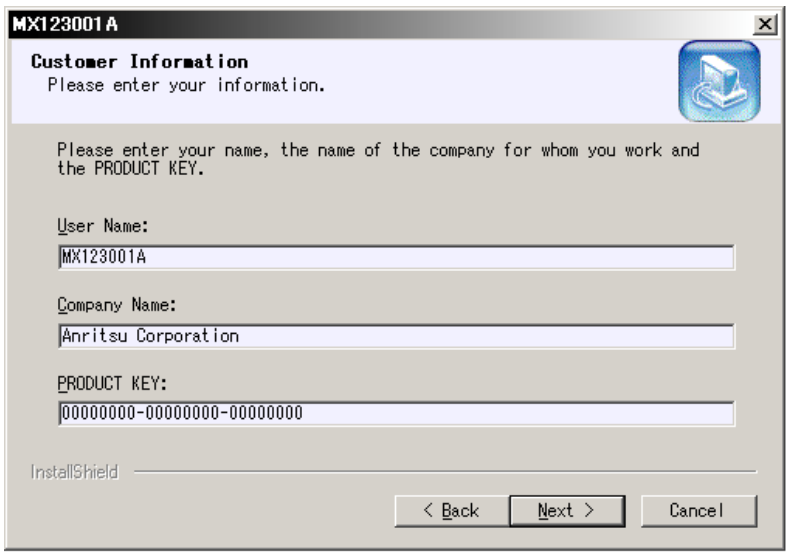
(2) MX123001A をインストールするフォルダを指定します。デフォルトでは下記フォルダが指定されています。

C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A

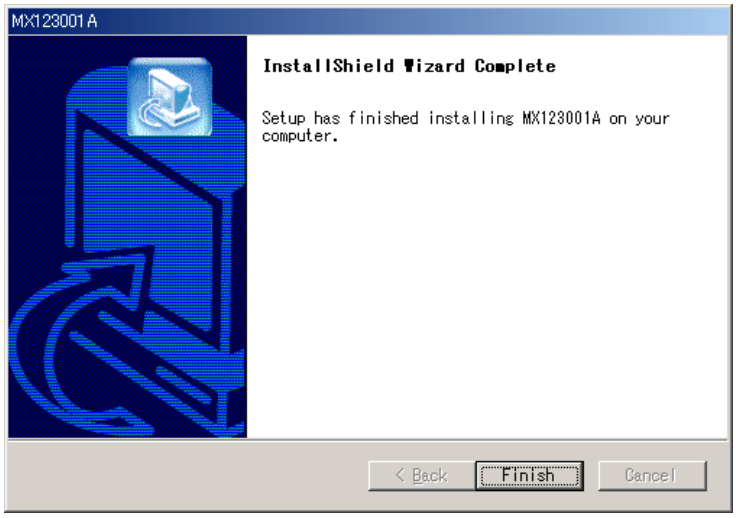
注意！：前回 MX123001A をインストールしたフォルダと同じフォルダを指定するようにしてください。



(3) Company Name,PRODUCT KEY を入力します。PRODUCT KEY は CD のケース内に記載されています。”-“(ハイフン)も必ず入力してください。



(4) 以下のような画面に対して Finish ボタンを押して，インストールを完了します。

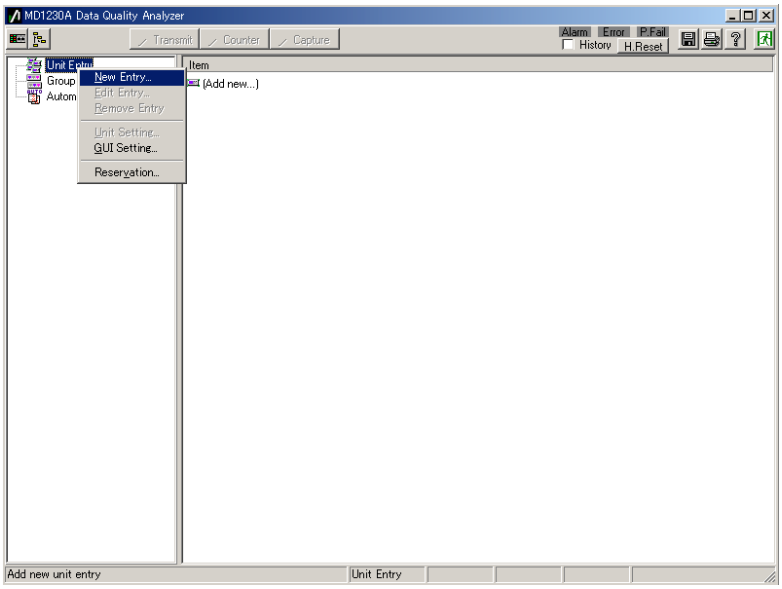


注意！： Ver.3.1 以前にインターナルメモリ上に保存された MD1230A/MD1230B/MD1231A の設定データや測定結果データを Ver.3.2 以降の MX123001A 上で使用したい場合、以下の手順が必要になります。

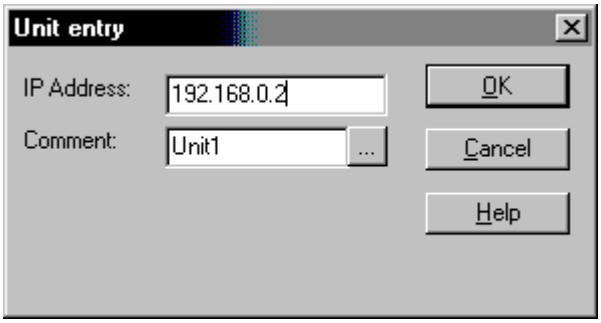
(1) Ver.3.1 以前の MX123001A がインストールされていたディレクトリ内にある”Internal Memory”フォルダをコピーしてください。デフォルトでは” C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A”内にあります。
(2) (1)でコピーした”Internal Memory”フォルダを Ver.3.1 以降の MX123001A がインストールされているディレクトリ内の”Main”フォルダ内に貼り付けてください。デフォルトでは” C:¥Program Files¥Anritsu¥MX123001A¥Main”です。
(3) 以上で作業は完了です。

4.3 Main Application の設定

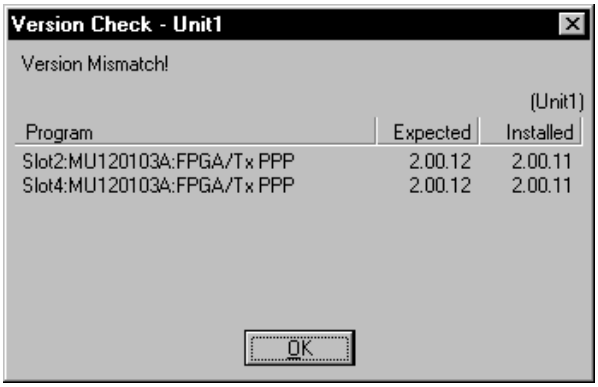
(1)Main Application を起動し，[Unit Entry] - [New Entry...]を選択します。



(2)接続しようとする MD1230A/MD1230B/MD1231A の Unit の IP アドレスを入力し, OK ボタンを押します。

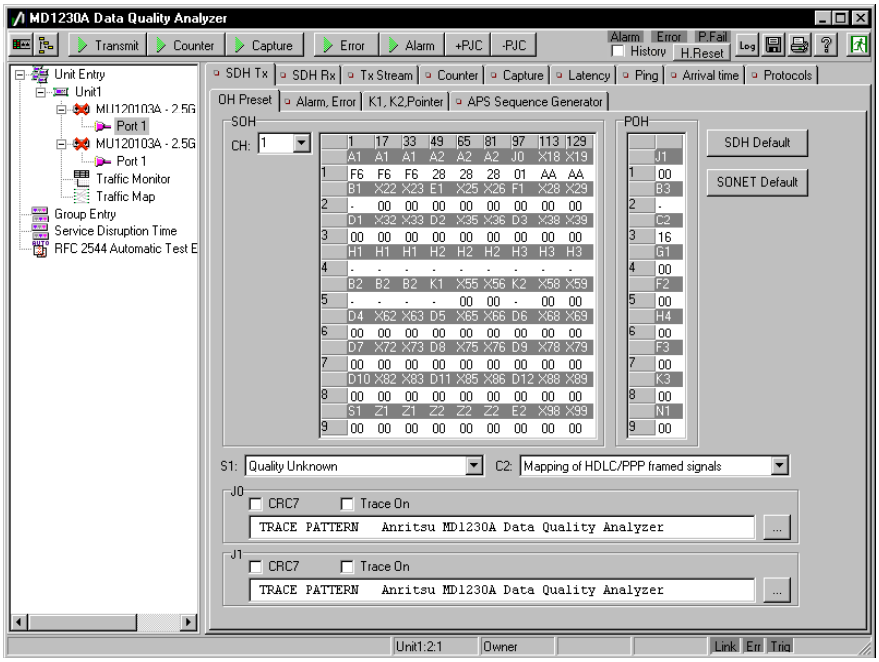


Unit への接続時に自動で VersionCheck を行います。ダウンロードされているファイルとインストールされているファイルに違いがないかを確認します。違いがある場合下記の画面が表示されます。



Program　　：バージョン情報が一致していないプログラムの名称。
Installed　　：インストールされているプログラムのバージョン。
Expected　　：動作保証できるプログラムのバージョン。

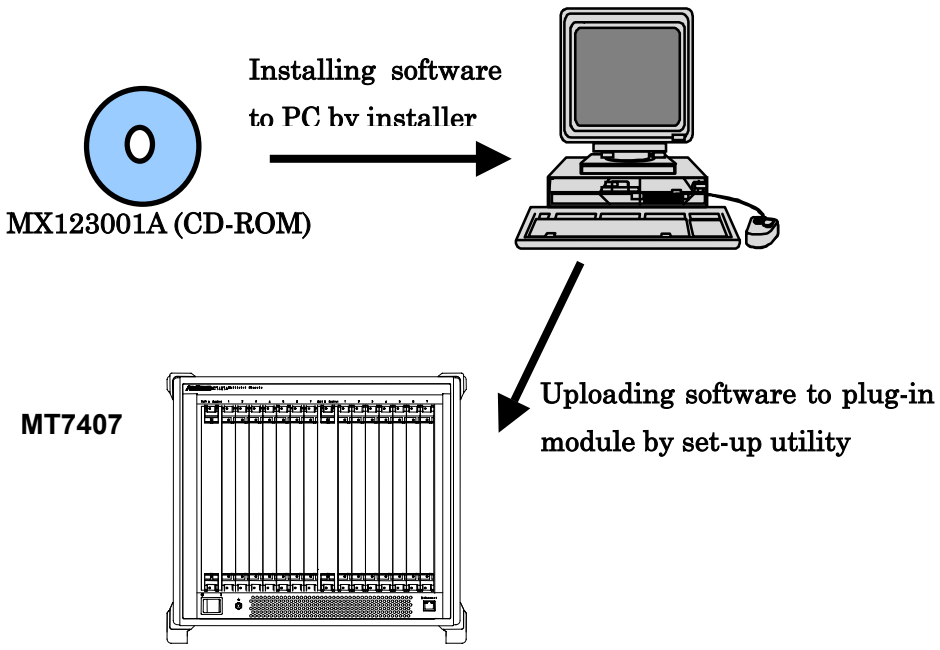
また、以下の画面のように、Version が合っていない Unit/Module アイコンに”×”が付きます。



5. MT7407A バージョンアップ手順

(1) MT7407A の電源を入れ、起動が完了するまで待ちます。(起動完了は Ready ランプによって確認できます。)
(2) PC と MT7407A をイーサネットクロスケーブルで接続します。
(3) PC と MU740701A を RS-232C クロスケーブルで接続します。
(4) MT7407A を制御する外部 PC にソフトウェア（MX123001A）をインストールします。インストール方法は「4. MX123001A バージョンアップ手順」を参照して下さい。
(5) Serial Selector を起動し、(3)で接続した PC の COM ポートを指定します。
(6) Setup Utility により MT7407A にソフトウェアをアップロードします。

Serial Selector、Setup Utility は MX123001A をインストールした PC の Windows スタートメニューから起動します。アップロードの手順については「3.3 内部ソフトウェア・FPGA データのダウンロード」を参照して下さい。



Imagination of upgrade

6. Q&A

Q. ダウンロードが出来ない。Main Application にユニットを登録できない。

A. MD1230A/MD1230B/MD1231A 内部の IP アドレス（Windows/Unit）が間違って設定されている可能性があります。Setup Utility を起動して，IP Address タブをクリックします。設定値が以下のようになっていない場合は，変更します。

Windows

IP Address: 192.168.0.1

Netmask: 255.255.255.0

Gateway: 0.0.0.0

Unit

IP Address: 192.168.0.2

Netmask: 255.255.255.0

Gateway: 0.0.0.0

Q. 以前にインストールされていたバージョンでセーブした設定・結果データを読み込みたい。

A. Setup File Converter を使用することにより、実現可能となります。Setup File Converter の使用方法については，MD1230A/MD1230B/MD1231A の取扱説明書をご覧下さい。

Q. Unit 登録で Unit アイコンが”×”になる。

A. ダウンロードされているファイルが違っている可能性があります。リリースノートを参照し、ファイルのバージョンを確認して下さい。違っていたらダウンロードし直して下さい。

Q. セットアップユーティリティにてソフトウェアのダウンロード時、"Execute"ボタンクリック後にエラーメッセージ "Serial communication error"が発生する。

A. このエラーメッセージ表示後、ダウンロードが正常に実行でき、以降の動作において他のエラーメッセージが発生しないならば、問題ありません。そのままお使い下さい。他にエラーが発生した場合は、弊社にお問い合わせ下さい。